

■ 主な参向神社

5月3日	気多若宮神社、清見12社合同、小屋名八幡神社、久々野八幡神社、御崎神社他15社、白川12社合同
5月4日	無数河船山八幡神社、大西熊野神社、荏名神社、新宮神社、飛驒東照宮、若宮八幡神社、久津八幡宮、木曾水無神社
5月5日	折敷地住吉神社、高田神社他6社、廣瀬神社他2社、阿多由太神社他10社、天津神社
5月6日	櫻山八幡宮、飛驒護国神社、辻ヶ森三社他4社、飛驒総社、日枝神社、飛驒天満宮、荒城神社他3社

■ 境内で披露される主な神事芸能

5月3日	獅子舞（三日町白山・花里八幡・大八賀）、鬮鶏楽（三日町白山）、白川八幡神社（民謡）、柳生新陰流兵法
5月4日	木曾福島水無神社神輿くぐり、獅子舞（無数河八幡、大西熊野、東照宮、荏名）、鬮鶏楽（荏名）、おかめ舞（飛驒東照宮）、槍踊（若宮八幡）、雫宮祭、飛驒高山高校和太鼓
5月5日	獅子舞（一位の森八幡）、金蔵獅子（金桶富士、上広瀬諏訪、廣瀬）、神楽獅子（阿多由太）、鶏鬮楽・江戸木遣り（天津）
5月6日	獅子舞（櫻山八幡、日枝、飛驒天満宮、辻ヶ森三社、飛驒総社）、鬮鶏楽（下岡本富士、宮地荒城）



飛驒一宮水無神社
式年大祭奉賛会 みつきのぶゆき 三木信之 総裁

大原騒動で疲弊した飛驒人の心を奮い立たせるとともに、天下泰平や五穀豊穡を祈願して安永八（1779）年、損壊した飛驒一宮水無神社の大造営を終え、飛驒国中の神社を招請した初となる「飛驒の大祭」を齋行さいこうしました。今大祭は昭和三十五年以来、実に五十七年ぶり十一回目の齋行となります。

大祭のいわれのとおり、このたびの齋行が飛驒地域の人々の安寧につながりますことを切に祈り、奉賛会一同、夜を日に継いで奮励努力してきたところです。

今の世をお預かりする私たちは、歴史と伝統を後世に引き継いでいく使命があります。先人から受け継がれる貴い伝統を守り伝えるのは、ほかならぬ人です。未来を担う若者に自信と誇りを持って守り伝えていくことが大切です。

もう一つ大切なことは、心からお迎える気持ちです。飛驒地域をはじめ全国から高山市一之宮町にお越しいただく多くの皆さんを、心の底からおもてなす態度や言葉使いなどが重要です。地域が一丸となって飛驒の一之宮の誇りと自覚を持って臨みます。

飛驒地域の平和と繁栄を祈願する「飛驒の大祭」にあたる飛驒一宮水無神社式年大祭が五十七年ぶりに齋行されます。伊勢神宮の式年遷宮は二十年、諏訪大社の御柱祭が七年のサイクルで齋行されることに鑑みますと、約半世紀ぶりの大祭に傾注された関係者の皆さんのご苦勞は想像に難くありません。

齋行期間中、飛驒一宮の神社の行列が見学できるほか、境内では奉納演芸と題して、各神社に脈々と伝わる獅子舞や鬮鶏楽、踊りなどがご覧いただけます。ぜひ飛驒一宮水無神社にお出かけいただき、連綿と受け継がれる伝統と文化、そしてそれらを頑なに守り続ける飛驒人の実直さを目の当たりにしてください。

市としましても、今大祭が高山市を全国に発信するまたとない貴重な機会ととらえ、誘客・宣伝に努めてきたところです。

今後ともユネスコ無形文化遺産や日本遺産などの地域の伝統や文化を守り伝えるとともに、大いに発信していくことで、市の振興に取り組んでまいります。引き続き伝統文化の継承と発信にご理解とご協力をお願いします。



くにしまみちひろ
高山市 國島芳明 市長